V-HORiZON ELMO

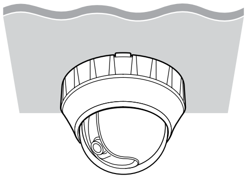
設置説明書　PF-PT490

この設置説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。また、ご使用前に別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

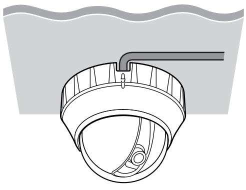
本機は次のように天井または壁に取り付けることができます。

天井取り付け(P1)

（天井内に配線する場合）

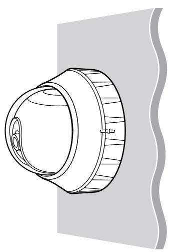


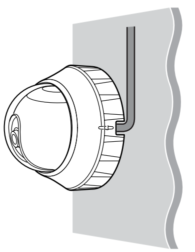
（天井面に配線する場合）



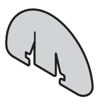
壁取り付け(P3)

（壁面内に配線する場合）　（壁面に配線する場合）





■ 付属品



①カバーシート



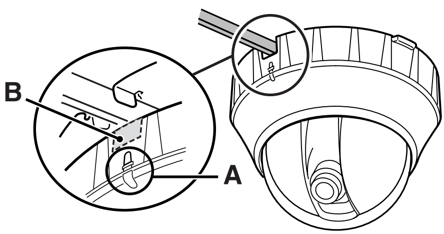
②ねじ

⚠ お守りください

- 本機取り付け時の穴空けなどは注意しておこなってください。また、配線用の電源・映像ケーブルなどは設置しやすいように引き出しておいてください。
- 本機を設置する際は、天井や壁などに対する防水処理を正しく行ってください。
- 本機の総重量を考慮して、平面で耐久性がある天井や壁をお選びください。
- 本機は、－10℃～＋40℃の環境に設置してください。（結露なきこと）
- 静電気による破損を防ぐため、本機に触れる前に身近な金属（ドアノブなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

■ 天井面または壁面に配線する場合：

リブマーク（A）の上部のノックアウト（B）をペンチ等で折り曲げて取り除いて、接続ケーブルを通してください。



■ 主要部品の交換時期

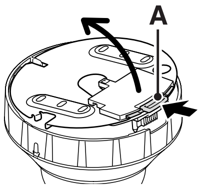
本機を連続してご使用した場合は、使用環境にもよりますが、部品が磨耗したり劣化します。本機の性能を維持させるためにもパンチルト動作回数120万回（水平方向の回転角が180度でPAN SPEEDがNORM設定で約2年間）または2年間を目安に交換をお勧めします。

- モータ、駆動部のケーブル、ギアなど

天井に取り付ける

1. カメラユニットからベース板をはずす

ベース板ロック（A）を押しながら矢印の方向に開ける

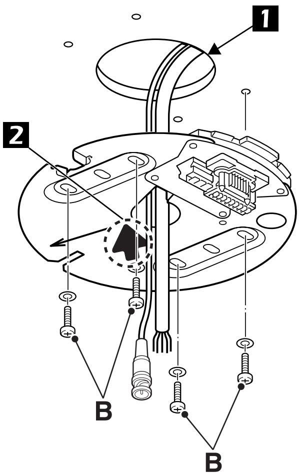


2. ベース板を取り付ける

1 配線用ケーブルをベース板のケーブル穴に通す

2 ベース板の矢印（⬇）を監視方向にする

3 ベース板を天井に合わせ、市販のネジとワッシャ（B）でしっかりと固定する
- **長さ**：35mm以上
- **直径**：3.5mm ～ 5.0mm
- **ネジ頭の高さ**：5mm以下（ワッシャ含む）



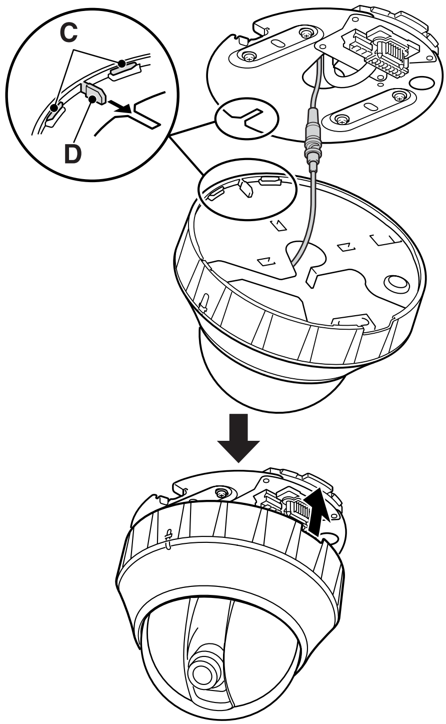
取付ネジは確実に取り付けてください。指定寸法以外を使用すると落下することがあります。

3. 配線用ケーブルを接続する

接続したケーブルは天井内に押しこんで整形してください。接続はP5をご参照ください。

4. カメラユニットをベース板に取り付ける

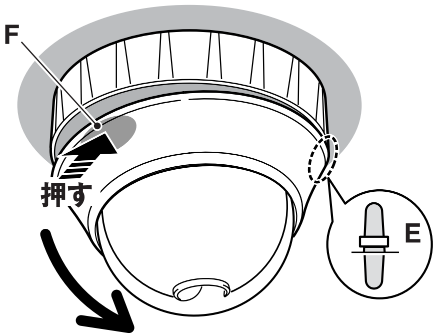
カメラユニットのリブ（C）とフック（D）にベース板の切り込みを合わせ、ロック音がするまでカメラユニットを押しこむ



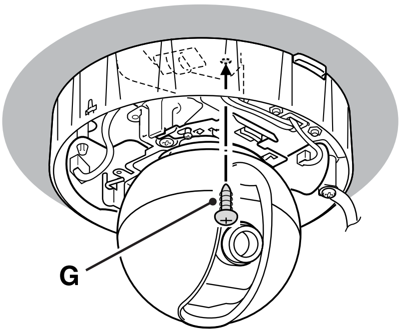
カメラユニットとベース板が合致しているかを確認してください。

5. ドームカバーをはずす

1 リブマーク (E) と反対側のキャビネット部分 (F) を押しながら、矢印の方向に開く



2 カメラユニットを付属のネジ (G) でしっかりと固定する

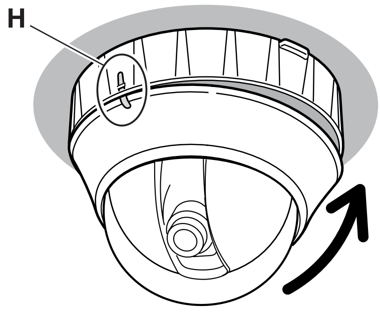


6. カメラ映像の調整・確認

- ■ 本機を遠隔操作で設定する (裏表紙参照)
- ■ 簡易モニタでメニューやカメラアングルを確認する (裏表紙参照)

7. ドームカバーを取り付ける

リブマーク (H) の突起部を合わせ、カチッと音がするまでドームカバーを押し込む



壁に取り付ける

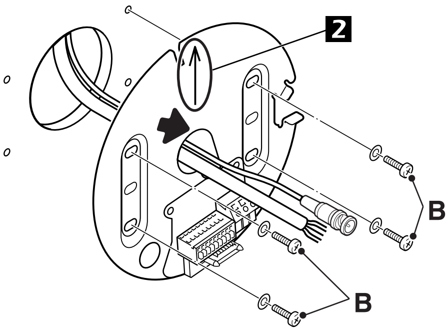
1. カメラユニットからベース板をはずす

「天井に取り付ける」をご参照ください。

2. ベース板を取り付ける

1 配線用ケーブルをベース板のケーブル穴に通す

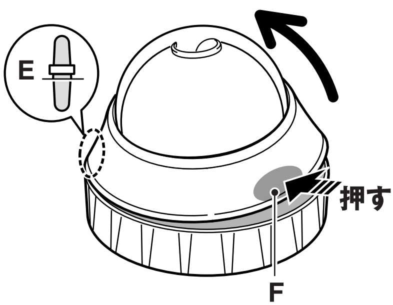
2 ベース板の矢印（↑）を上側にし、壁に合わせてネジ（B）で4カ所をしっかり固定する
- 長さ：35mm以上
- 直径：3.5mm ～ 5.0mm
- ネジ頭の高さ：5mm以下（ワッシャ含む）



取付ネジは確実に取り付けてください。指定寸法以外のネジを使用すると落下することがあります。

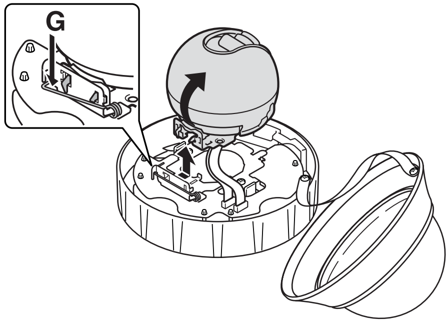
3. ドームカバーをはずす

リブマーク（E）と反対側のキャビネット部分（F）を押しながら、矢印の方向に開く

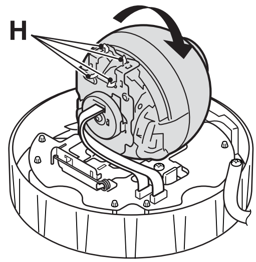


4. カメラ部を付け替える

1 バネ（G）を押さえてシャーシベースからフックをはずし、カメラ部を矢印の方向に引き出して底面が見える状態にする

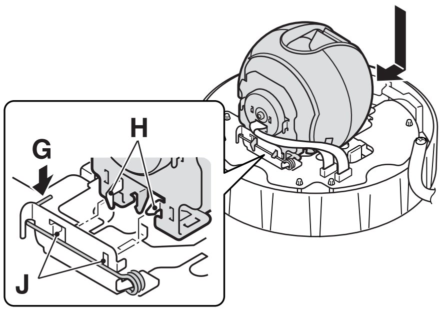


2 カメラ部を回転させ、ロック（H）を逆さまの位置にする

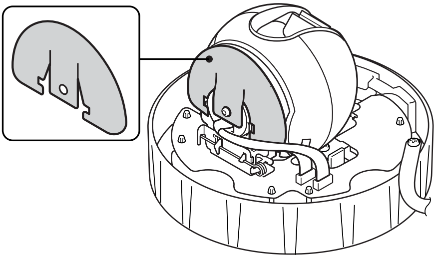


3 ロック（H）とシャーシベースの切り込み（J）に合わせ、バネ（G）を押さえて、カメラ部を装着する

フラットケーブルはシャーシから離してください。

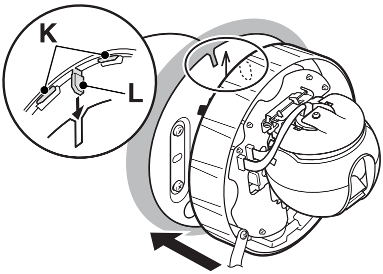


4 カバーシート固定用の剥離紙をはがし、カメラ部の底部が見えなくなるように貼り付ける

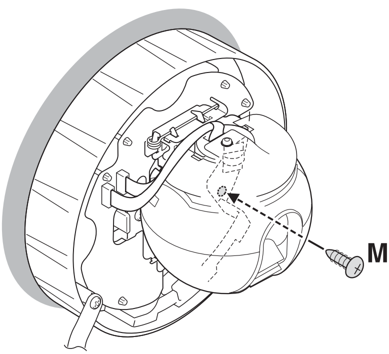


5. カメラユニットをベース板に取り付ける

1 カメラユニットのリブ（K）とフック（L）にベース板の切り込みを合わせ、ロック音がするまでカメラユニットを押しこむ



2 カメラユニットを付属のネジ（M）でしっかりと固定する



6. カメラ映像の調整・確認

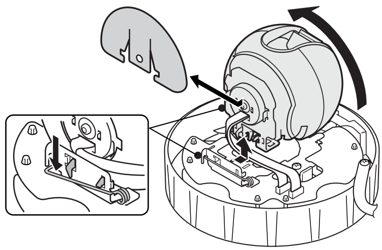
■ 本機を遠隔操作で設定する（裏表紙参照）
■ 簡易モニタでメニューやカメラアングルを確認する（裏表紙参照）

7. ドームカバーの取り付け

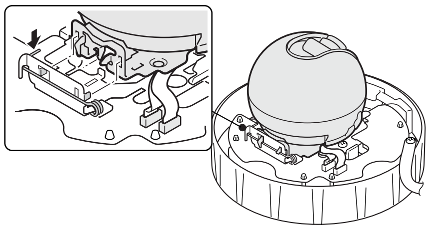
「天井に取り付ける」の「7. ドームカバーを取り付ける」をご参照ください。（P2）

壁から天井面にカメラ部を戻す場合

① カバーシートが変形しないように取りはずす
② バネを押してカメラ部をはずす



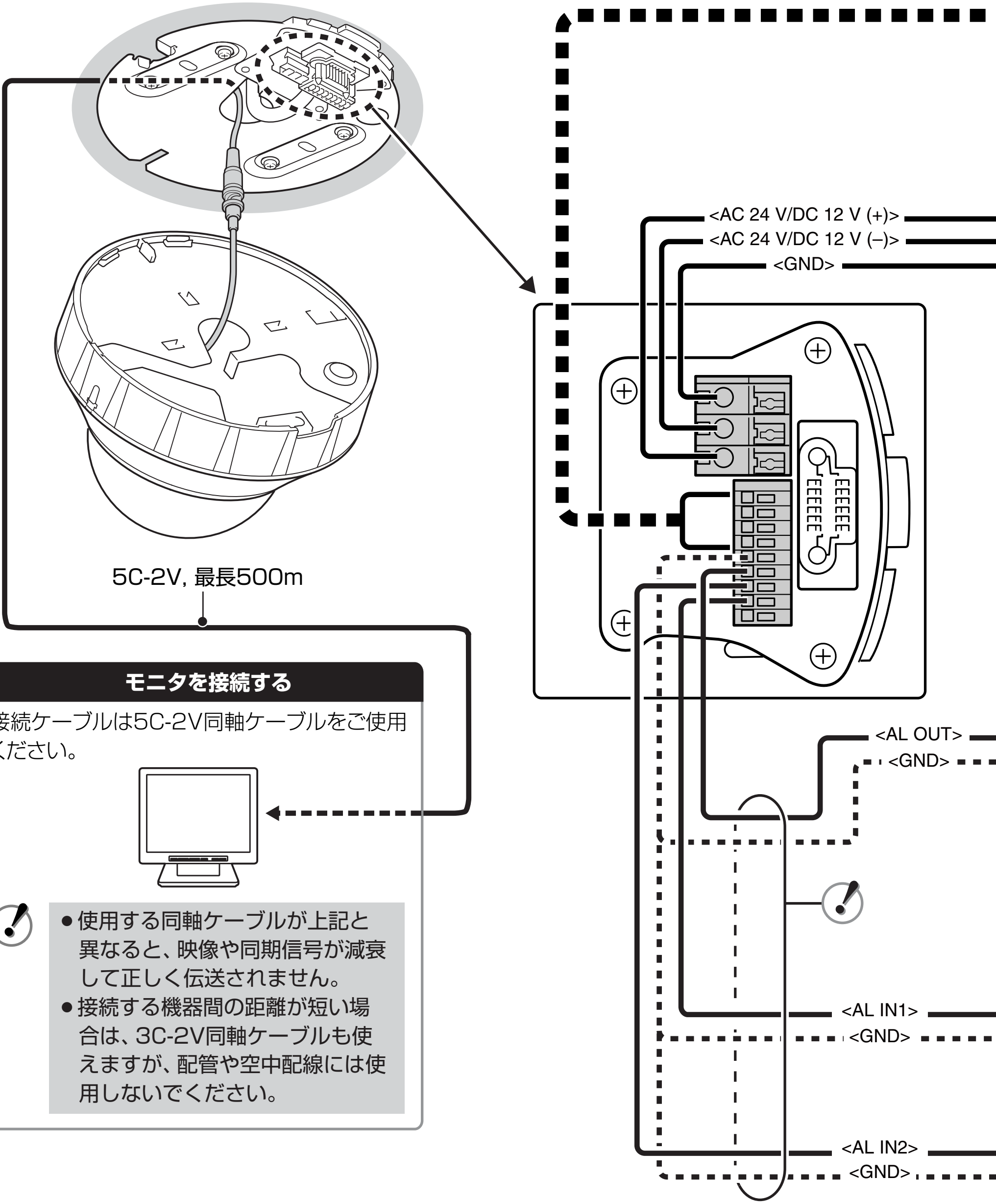
③「4. カメラ部を付け替える」を参考にカメラ部を取り付ける（P3）



- フラットケーブルがシャーシ間に挟まっていないことを確認してください。
- カバーシートが変形すると、再取り付け時にドームカバーなどに当たる原因になります。

接続のしかた

すべての接続が完了するまでは電源を入れないでください。



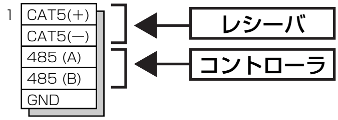
モニタを接続する

接続ケーブルは5C-2V同軸ケーブルをご使用ください。

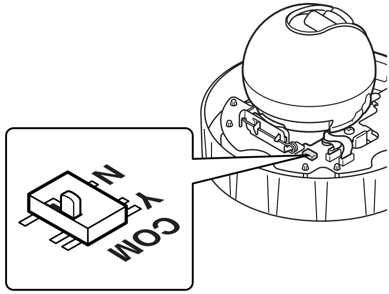
- 使用する同軸ケーブルが上記と異なると、映像や同期信号が減衰して正しく伝送されません。
- 接続する機器間の距離が短い場合は、3C-2V同軸ケーブルも使えますが、配管や空中配線には使用しないでください。

各接続線は24AWG以上、最長600mまでです。

カメラを遠隔操作する通信機器と接続する場合



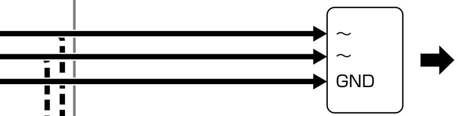
基板上のCOMスイッチ（S4003）は、“N” に切り換えないでください。



Y： 通信ボードを使用する
N： 通信ボードを使用しない

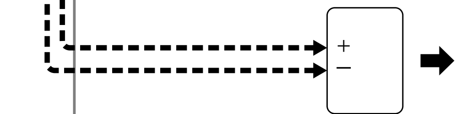
電源を接続する

■ AC 24Vの場合



接続は18AWGより太いケーブルをご使用ください。

■ DC 12Vの場合
極性+、−が正しいことを確認してください。

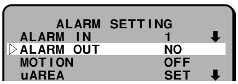


接続は18AWGより太いケーブルをご使用ください。

アラーム信号を出力する

本ケーブルにランプなどを接続している場合は、アラーム信号を入力したり、内蔵のモーションセンサーを検知すると、ランプなどが点灯し警告します。

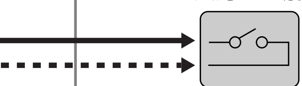




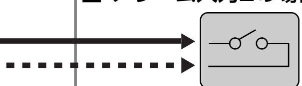
アラーム信号を入力する

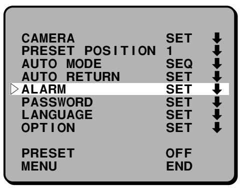
詳細は取扱説明書「アラーム入力を設定する」をご参照ください。

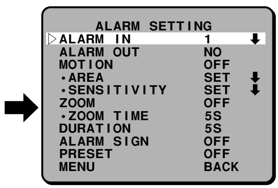
■ アラーム入力1の場合（“1” を選択）



■ アラーム入力2の場合（“2” を選択）



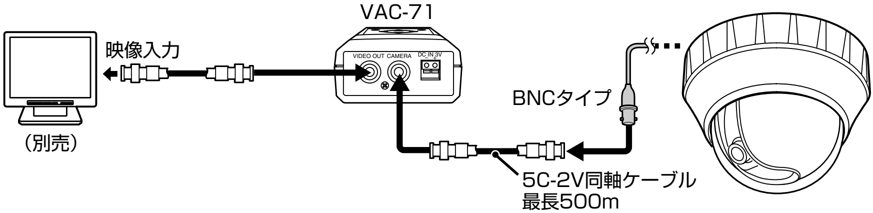




遠隔操作

■ 本機を遠隔操作で設定する

本機の設定や調整をおこなう場合、別売のカメラコントロールユニット（VAC-71）をお勧めします。カメラアングル（パン・チルト）の調整やメインメニューから詳細設定ができます。詳しくはカメラコントロールユニットの取扱説明書をご参照ください。



- 設定や調整が終わりましたら、必ずカメラコントロールユニットは取りはずしてください。
- ケーブル補償器や映像分配装置を使用した場合の制御保証はできません。

簡易モニタ出力でメニューやカメラアングルを確認する

（別売のカメラコントロールユニットを使用する場合は、この確認方法は不要です。）
基板上のMONITOR OUTピンとGND ピンをワニ口クリップで接続してください。確認後は必ず接続をはずしてください。基板上の専用MONITOR OUTコネクターでも確認できます。

■ メニューの確認と変更

1) SETボタン（①）を約1秒以上押す
メインメニューを表示します。

2) 選択ボタン（②）を上下に押し、メニューを選択してSETボタンを押す

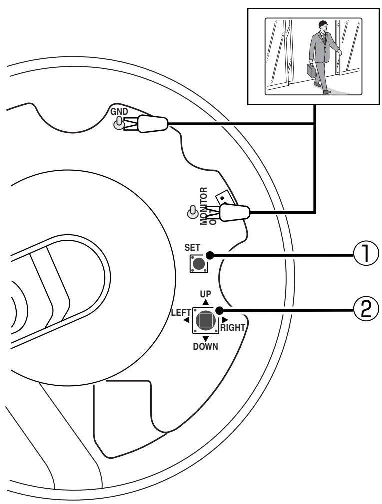
3) 選択ボタンを左右に押し、指定項目や設定値を選択してSETボタンを押す

■ カメラアングルの確認と変更

1) モニタ映像がライブでメニューを表示していないときに選択ボタンの上下左右を押す
カメラアングル（パン： ◀ ▶／チルト： ▲ ▼）を設定できます。

2) SETボタンを押し、選択ボタンの左右を押す
ズーム（広角： ◀ /望遠： ▶ ）操作ができます。

- SETボタンを押すごとにパン／チルトとズームの操作が切り換わります。



この説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

R0
1AC6P1P3206--
L5BM2/JPEL(0507KR-SY)